

2012-3



95巻3号 平成24年3月
社団法人 電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8機械振興会館内
電話 (03) 3433-6691代 FAX (03) 3433-6659
E-mail: office@ieice.org 振替口座: 00120-0-35300

目次

電子情報通信学会誌

会 長	安 田 浩
次 期 会 長	吉 田 進
副 会 長	中 嶋 信 生
	北 山 研 一
	喜 連 川 優
	間 瀬 憲 一
総 務 理 事	江 村 克 己
	西 原 明 法
会 計 理 事	太 田 直 久
	小 林 岳 彦
編 集 理 事	今 井 浩 浩
	斎 藤 洋
企 画 理 事	澤 田 寛
	本 島 邦 明
調 査 理 事	荒 川 薫
	佐 々 木 繁
編 集 長	酒 井 善 則
企 画 室 長	持 田 侑 宏
規 格 調 査 会 委 員 長	三 木 哲 也
監 事	村 上 篤 道
	木 戸 出 正 継
基 礎 ・ 境 界	
ソサイエティ会長	貴 家 仁 志
次 期 ソサイエティ会長	山 本 博 資
通 信	
ソサイエティ会長	萩 本 和 男
次 期 ソサイエティ会長	田 中 良 明
エレクトロニクス	
ソサイエティ会長	小 山 二 三 夫
次 期 ソサイエティ会長	荒 木 純 道
情 報 ・ シ ス テ ム	
ソサイエティ会長	石 田 亨
次 期 ソサイエティ会長	萩 田 紀 博
北 海 道 支 部 長	前 田 純 治
東 北 支 部 長	作 山 裕 樹
東 京 支 部 長	森 川 博 之
信 越 支 部 長	佐 々 木 修 己
東 海 支 部 長	藤 原 修
北 陸 支 部 長	堀 俊 和
関 西 支 部 長	高 橋 達 郎
中 国 支 部 長	羽 野 光 夫
四 国 支 部 長	中 野 好 典
九 州 支 部 長	山 本 浩 之

巻頭言

目次前

科学技術と幸福

基礎・境界ソサイエティ会長 貴家仁志

慶賀

269

赤崎 勇先生の平成 23 年度文化勲章受章を祝して

澤木宣彦

270

菅野卓雄先生平成 23 年度文化功労者に
——固体電子工学, 特に, MOS トランジスタと集積回路技術の
発展への先導的な学術貢献——

榊 裕之

特集 東日本大震災からの復興の取組みと 震災から得た教訓

187

特集編集にあたって

編集チームリーダー 源田浩一

188

1. 東日本大震災を振り返って

中沢正隆

被災地の大学から, 情報通信研究の復興メッセージ

2. 情報通信インフラの被災状況と復旧に向けた活動状況

195

2-1 東日本大震災における通信インフラの災害復旧とその課題

災害時における通信サービスの安定的な提供を目指して

山路栄作

201

2-2 東日本大震災における通信衛星 WINDS 等の活用状況

大規模災害発生時, 通信衛星はどのような役割を担ったのか

高山慎一郎 要 貴史 秋岡真樹 高橋 卓

207

2-3 情報インフラ混乱時におけるコグニティブ無線ルータの有効活用

契約事業者によらない通信環境を被災地に

原田博司 石津健太郎 村上 誉

213

2-4 東日本大震災被災地における情報格差解消への取組み

災害時の情報伝達手段の在り方とは

大江将史 植原啓介

その他

平成 24 年 4 月号小特集予定目次 275 図書紹介 271 国内文献目次 272

図書寄贈一覧 272 本会だより 273 編集室 276

複写される方へ 会告参照 IEICE Global Plaza 会告前 会告 後付

論文誌目次 会告後 広告目次 巻頭言前

3. 災害情報流通手段の多様化

219

3-1 東日本大震災とオンラインコミュニケーションの社会心理学 ——そのときツイッターでは何が起きたか——

情報化社会は、いかに人々の心理に影響を与えるのか

三浦麻子

224

3-2 緊急地図作成チームによる国レベルでの状況認識の 統一に向けた取組み

全ての活動の道標となる各種地図情報

井ノ口宗成

4. 将来の災害に備えた情報通信技術

231

4-1 オフラインケータイ——通信不能下での携帯電話機による 情報収集交換技術——

網接続性喪失下での、携帯電話機による新たな情報伝達手段の構築

滝澤 修

237

4-2 災害対策のための地上衛星共用携帯電話システム

平常時も使える災害対策の地上衛星のハイブリッドシステムとは？

藤野義之 三浦 周 辻 宏之 浜本直和

243

4-3 モバイル通信網の迅速な復旧を可能とするバックホールへの要件 災害にも強いネットワークの構築を目指して

古川 浩

249

4-4 災害時における無線電力供給技術を活用した通信確保技術

「そのとき」に必要なエネルギー輸送！ 無線電力供給技術の可能性

篠原真毅

253

4-5 災害に強いネットワークに向けた研究開発

情報通信ネットワークのレジリエンス向上を目指して

堀越博文 佐藤良明 松本公秀

259

4-6 将来の災害に備えた新たな情報通信技術体系

成長するきずな、今何が必要で何をすべきか!?

村井 純

ニュース解説

265 次世代高速光インタコネクト向け低消費電力・小形光送信機を開発
——通信距離 100 m で従来比 2.5 倍の 25 Gbit/s によるデータ伝送に成功——

266 スーパーコンピュータ「京」が 10 PFLOPS を達成

267 次世代光アクセスシステムに向けた低消費電力光送受信技術

会誌編集委員会

編集長 酒井善則
編集理事 今井 浩・斎藤 洋
編集特別幹事 石井孝明・源田浩一
吉川信行・苗村昌秀

WG・A

主 査 石井孝明
副 査 櫻田英樹・高橋篤司
委 員 一色 剛・今井順一
久保田 彰・小室信喜
須賀祐治・土屋隆生
中口俊哉・早川昭二
比留間伸行・前田義信
宮永喜一・山中克久
湯川正裕

WG・B

主 査 源田浩一
副 査 吉野 仁・山岡克武
委 員 飯草恭一・大垣健一
大木英司・岡田 実
小黒啓一・草間一宏
白倉政志・蘇 洲
高橋国康・辻 弘美
成田篤信・深沢 徹
藤崎清孝・不破 泰
三浦俊二・山口真吾
横井弘文

WG・C

主 査 吉川信行
副 査 松永高治・原市 聡
委 員 五十嵐浩司・大寺康夫
小野和雄・黒崎武志
佐久間 健・関根優年
筒井一生・沼田英俊
廣本宣久・堀口健一
丸山道隆・水野幸民
八木英樹

WG・D

主 査 苗村昌秀
副 査 植野 研・堀田一弘
委 員 池 司・伊藤靖朗
城戸英彰・菅沼優子
蝶野慶一・永岡 隆
中藤良久・成田雅彦
西田泰伸・服部 元
藤木 淳・水野秀之
皆川明洋・牟田英正
望月貴裕・吉川大弘

ニュース委員会

委 員 長 酒井善則
幹 事 吉川信行・源田浩一
委 員 五十嵐 讓・石丸勝洋
井出 聡・大辻清太
加藤 隆・河島 整
川村卓也・曾我部靖志
高木幸一・西海聡子
長谷川英明・福田智恵
藤田 卓・三浦 周
山本邦彦・山本由香里
吉川隆士

会誌に対する御意見をお寄せ下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/books/kaishiiken.html>